

選ばれる観光地づくりと今後の観光振興に向けた取組（いわてDCで築いた財産を生かして）

平成 25 年 1 月 17 日
岩手県商工労働観光部

1 いわてDC期間中の観光客の入込状況（H24.4～6）

737万人回、平成22年度同期比97.1% ⇒ 県全体で震災前の水準までほぼ回復
(単位：人回、%)

地域	平成24年度	平成22年度	増減
県全体	7,368,617	7,588,321	97.1
盛岡地域	2,146,901	1,872,448	114.7
県南地域	3,680,249	3,469,347	106.1
県北地域	654,999	705,203	92.9
沿岸地域	886,468	1,541,323	57.5

★震災前の水準に届かなかった県北、沿岸地域を中心に、観光客の入込回復が課題！

⇒盛岡、県南地域との誘客相乗効果を図りつつ、重点的に取り組む！

お客様に選ばれる観光地づくりに向けて！

2 選ばれる観光地づくりに向けた取組

(1) 市町村の取組

① 観光サシスセソの普及・浸透

各地域の取組：観光資源のブラッシュアップ

観光サシスセソ
～世界一、日本一、オンリーワンを探せ～

サブライズ・・・かっこうだんごの中国旗、マルカンの割りばしソフト、サッパ船クルーズ、カキ小屋

シャレ・・・恋し浜ほだて、ごますり団子、獺舞、うんだま

ストーリー・・・平泉金色堂、遠野物語、ザシキワラシ、一本松、三鉄鉄道ダンシ、〇〇周年、

セット・・・盛岡三大睡、温泉＋グルメ、スキー＋温泉、農漁家民泊

ソフト・・・映像、写真、音楽（ご当地ソングなど）、ロケ地めぐり、演舞・踊り

② 住民総参加による「あなわん運動」の推進

みんなでおもてなし あなわん運動
一人ひとりがおもてなし！①おもてなし②おもてなし③おもてなし④おもてなし⑤おもてなし⑥おもてなし⑦おもてなし⑧おもてなし⑨おもてなし⑩おもてなし

「おもてなし」といっても特別なことではありません。いつものように笑顔とまごころでお迎えしましょう！

優しい心で迎えましょう
困っている人を見かけたらひと声かけましょう。名物や美味しいものをどんどん教えましょう。

笑顔で迎えましょう
観光バスやイベント列車を見かけたら手を振って大歓迎しましょう。記念撮影など、笑顔で声をかけて手伝いましょう。

きれいな岩手で迎えましょう
どこへ行ってもゴミのない、クリーンな環境を自覚しましょう。落書きなどのないきれいな街並を保ちましょう。

(2) 県の取組

① 観光コーディネーターの設置、地域への派遣（H23.2～）

② 魅力ある観光地をつなぐ観光ルートの構築・セールス（広域二次交通の充実・旅行商品造成の働きかけなど）

チャンスにつながる新たな誘客要因

★NHK連続テレビ小説「あまちゃん」の放映（4月～）

★三陸復興国立公園の創設、震災学習への関心の高まり、三陸鉄道再開、三陸ジオパーク など

いわてDCの誘客効果の維持、拡大に向けて！

3 いわてDCありがとうキャンペーンの展開（H24.9～25.3）

いわてDC後の誘客効果の維持・拡大と震災前の水準に届かなかった県北、沿岸地域への重点的な誘客に向け、いわてDCありがとうキャンペーンを展開

【主な取組内容】

- ・中長期滞在型旅行の首都圏企業等へのセールス（1,000社）
- ・ガイドブック、エリア別ガイドブック、ポスターの作成
- ・全国規模の旅の博覧会（JATA旅博、旅フェア2012）でのPR
- ・首都圏等のメディア招請、全国放送の旅番組での観光情報の発信
- ・首都圏・仙台圏のメディアへのキャラバン
- ・空路を活用した本県向け旅行商品の造成、販売促進
- ・内陸と沿岸をつなぐ復興応援バスツアーの拡大実施（3⇒6コース）
- ・県北・沿岸を回遊するバスツアーの試験運行



【ガイドブック】

「東北観光博」との連動による相乗効果をねらいながら実施



4 平成25年度の取組

いわてDCの成果を踏まえ、JR東日本との共同により、新たなコンセプトによる“5つの潮流”創出に向けた「いわてDCアフターキャンペーン」を実施

■実施期間：平成25年4月（GW）～9月（7月～9月はJR東日本の重点販売地域に指定済）

■推進母体：いわてDCの仕組、体制を承継し、引き続きオール岩手の体制で各種事業を展開

（現在の組織：いわてデスティネーションキャンペーン推進協議会、県、市町村、観光、商工、農林水産、通信、金融、交通、報道関係者など86団体で構成）

いわてDCアフターキャンペーンの取組イメージ

■潮流其の四

空路で岩手へ！

教育旅行を中心とした中部、関西圏からの流動の拡大

■潮流其の参

二戸を玄関に！

NHK朝の連ドラ放映での久慈地域への注目を生かし県北全体の回遊を促進

★観光の力による復興の取組加速
★新たな潮流創出による全県での観光振興

■潮流其の五

東北を一つに！

隣県DCと連動し、県境を越えた誘客促進

■潮流其の式

内陸から沿岸へ！

沿岸宿泊施設の再開を踏まえ、内陸ー沿岸を回遊し、沿岸での宿泊増につながる流れを促進

■潮流其の参 平泉から北へ！

平泉の集客力の維持・拡大と県内各地への回遊を促進

期間中の主な取組内容(予定)

■平泉から北へ！

- ・県内の各見所を紹介するガイドブックの制作、雑誌等広告掲載、ITを活用した観光情報の提供
- ・企業等への中長期滞在型旅行の訪問セールスの実施
- ・平泉のゲートウェイ機能を強化し、県内各地の周遊を促進（観光誘導スタッフを配置）

■内陸から沿岸へ！

- ・宿泊施設の再開、三陸鉄道再開、復興国立公園を見据え、三陸旅行を内陸ー沿岸の旅行ルートの定番化に向けて復興応援バスツアーを拡充（「岩手・復興応援バスツアー」のブランド化推進）

■二戸を玄関に！

- ・二戸・久慈地域への回遊を促進する情報発信の強化（メディアへの露出強化など）
- ・復興応援バスツアー（二戸～久慈）の運行

■空路で岩手へ！

- ・教育旅行を中心に、「震災と平泉」など他県にない組み合わせによる中部、関西等へのセールスの展開（説明会の開催など）

■東北を一つに！

- ・仙台・宮城DC（4～6月）秋田DC（10～12月）と連動した広域二次交通の充実

今後、H26北陸新幹線金沢開業、H27北海道新幹線新函館開業 ⇒ 激化する地域間競争に打ち勝つために県では・・・魅力ある観光地を広域（県内・東北内）でつなぎ、2泊以上のルートの定番化促進！市町村では・・・**選ばれる観光地づくり、地域の魅力を磨き、さらなるレベルアップを！！**